

委員会だより

< 6月6日(日) 7名出席 >

1. 2004 年度行事計画について

- ① 第12回横浜教区宣教司牧評議会総会
6月5～6日(日) グルニエ神父・竹内布教委員出席
- ② 臨時総会開催： 運営基準見直し・建設資金(教会建物修繕)関係を審議するため8月29日(日)を予定。

2. 会計報告(甲斐委員)

- ◆ 一般会計：収入・支出とも予算進捗はほぼ予定通り。特記事項として、「高野神父叙階祝・伊藤神学生歓迎会」では、各信徒のご協力で、残額を献金することが出来た。
- ◆ 建設会計：収入・支出とも、予算進捗はほぼ予定とおり。

3. 信徒総会課題の検討と進捗

- ① 運営基準見直しの件(委員長)
 - ◆ 基準見直しプロジェクトチームは5月30日「新運営規定(案)」を完成、委員会に答申。内容を委員長が説明し7月委員会までに検討した。
 - ◆ 今後の予定は、6月壮年会・婦人会例会で審議(プロジェクトメンバーが説明)、7月委員会にて審議、その結果を8月29日(日)臨時総会に提案し、審議頂く予定。《プロジェクトメンバー：東原主査・井上・鈴木・阿部(寿)・石井(悠)・松下・下村委員長・小山副委員長》
- ② 建設会計関連(福島副委員長)
 - ◆ 本館屋根補修は6月5日(土)完了。(業者補償期間サービス)
 - ◆ 屋根塗装・外壁塗装・床下塗装・畳替え・放送設備取替等は概算額500万円以上。更に専門家の見積りを取り7月委員会にて審議。建設資金確保の為バザー券の復活も含め、8/29(日)臨時総会で信徒の皆様へ説明。
- ③ バザー関連(山本行事委員)
 - ◆ H16年度バザー準備委員会(5/19)につき、a. 目的は「地域との交わりと教会修繕」b. 規模は昨年並み、目標金額50万円(昨年実績57.4万円)等が報告された。詳細は6/27 第一回バザー委員会にて検討。
- ④ 献金の減少と財務報告業務の増大： 検討休眠

4. 委員・グループよりの連絡事項

- ① 委員会
 - a. オルガン調律報告(小山副委員長)
ヤマハ首都圏サービスにより調律完了。(岩淵さんに立会をお願いしました。)
 - b. 典礼冊子の献金方式(有料化)導入の検討
従来典礼委員よりお願いの通り、典礼冊子は原則お持ち帰り頂く。先月提案の献金方式は当面先送り。
- ② 要理委員
6/19～20「リーダーのための研修会」葉山イエズス孝女会への出席を、伊藤神学生・井上要理委員にお願いした。
- ③ 典礼委員代理設置について(萩原委員)
典礼の仕事は、先唱グループ(男性)と準備グループ(女性)とが旨く廻り始めた。更に活動を充実させるため、青柳さんを典礼委員代理に推薦したい。本提案を委員会へは了承し「運営基準」IV 5・6に則り信徒に連絡する。

婦人会だより

< 6月24日(日) 34名出席 >

- 1. 始めの祈り 病気の会員のための祈り(ロザリオ一連一光の神秘一、病者のための祈り)
- 2. 委員会報告
- 3. 第五地区福音宣教委員会報告(石川さん)
- 4. 「運営基準」見直しプロジェクトチーム報告(阿部寿美恵さん、石井さん) … 報告内容に関する説明と話し合い。



5. バザー関連事項

- ① 食堂メニュー
カレーライス、玉こんにゃく、紅茶とマドレーヌ。その他わらびもち、白玉あん、おはぎ、おしるこなどの案も出たが、これについては手間とか値段を検討して決める。なお、各々の食数と値段は7月の例会で検討する。
- ② 委託品
お茶、ド・ロ様うどん、民芸品、コロッケなど。
- ③ 食堂関係の準備などは、「行事(食事)グループ」の方々を中心にお願いたします。

6. その他お知らせ

- ① 「庭をきれいにする会」から、みなさまに買っていたいた野菜などの売上金で花壇の花を買うことができましたと報告がありました。
- ② 6月20日例会後と27日ミサ後に不用衣料品の販売を行ない、10,250円の売上がありました。
【次回例会は7月18日(日) 聖堂清掃の用具および例会のお茶の準備当番はA地区】

壮年会だより

< 6月20日(日) 11名出席 >



- 1. 委員会報告： 詳細略
- 2. 壮年会会計状況報告：
本年度1～6月度収支報告を配布。特に会費納付率が55%に留まっており、会員各位のご協力をお願いしたい。
- 3. バザー：「青空市」の進め方
まずは、掲示板で抛出頂くことが可能な品物(本、CD、…etc)を記入頂いて、規模を調査する。
- 4. 教会運営基準見直しプロジェクト：
◆ 本プロジェクト主宰の東原氏より、6回にわたる検討会の見直し案につき、考え方や詳細内容をご説明頂いた。
◆ 特に東原氏は、「総則」の「…信徒共同体の使命を果たすため、信徒一人ひとりが主体となって、その円滑な維持運営を図るための基準を定める…」に今回見直しの全てが集約されることを強調された。
◆ 質疑応答を経、壮年会として大筋了承。今回資料を再度7月壮年会で議論し内容確認する。
- 5. 建設・修繕関連：
◆ 福島氏より、必要補修事項調査内容と7月末迄に見積り完了の旨ご説明。(オルガン修理は小谷氏ご尽力で完了)
◆ 本件は、8月29日予定の臨時信徒総会での議題となる「バザー券復活」にも繋がるので、当日迄に建設・修繕関係全体の費用見込みを明確にする。尚、福島氏からご提案の床下・柱部分のタッチアップ塗装は壮年会として協力し、作業見積りが明確になり次第具体化する。
- 6. 壮年会の7月～9月分の当番表： 掲示板に掲載する。
- 7. 「区民クリスマス」の件
竹内氏より、5月28日開催の第1回実行委員会の報告。(資料配布あり)中和田教会の提起した課題は実行委員会や他教会に十分伝わり、改善に向けての決意が確認出来た為、今年も従来通り正式に参加することとした。今後、区民クリスマス実行委員会には、竹内氏が中和田代表として出席。
- 8. ごミサ小冊子の有償化： 委員会決定で有償化検討先送り
- 9. その他、自由発言
◆ 竹内氏より「<共同宣教司牧>とは何ですか?何をするのですか?」に関する資料配布。皆さんに読んで頂き、議論に参画して欲しい旨ご要望あり。(教会改革に繋がる)
◆ 庭木の手入れの件：庭木手入れ、草取りは日頃古田氏にお骨折り頂いている。枝伐採は、葉が落ちる秋に行う。
◆ サロン・野菜販売のポスター：小谷氏ご提案。委員会上申。

広報 なかわだ

第303号

2004年 7月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>
平成16年7月5日

7月の予定

委員会	7月 4日
壮年会、婦人会	7月 18日
サロン	7月 11, 25日
レジオ	7月 9, 16, 23日



記念日、誕生日、祝い日、神さま ご自身から創っていただいた日々

主任司祭 ジャック・グルニエ



聖ヤコブ像

ヤコブを記念する『聖年』について聞いたことがありますか。実は今年こそそういわれた年になっています。少なくとも、スペインのサンチャゴ・デ・コンポステラ巡礼地に行ったら、その住民みんながそういうことをよく知っているはず。ところで、中和田の場合、7月25日(日)のミサは多分「年間第17主日」という形にしてささげられるかもしれません。しかし、コンポステラの大聖堂の中にいたら違います。なぜかといいますと、その日には聖ヤコブ祭日の荘厳な礼拝を優先的に考えたいわけ。今年の使徒聖ヤコブ祭日は(それはいつも7月25日に当たりますが)ちょうど日曜日に当るので、今年を『聖年』と名づけました。わたしは洗礼名が「ヤコブ」(仏語 ジャック Jacques) ですから敏感なのです。

確かに、教会も社会も、またそれぞれ個人も、いろいろ判断した上で、勝手にその「時」に特別の意味をつけることがありますね。出来事や節目、イベント、誕生日など特に大事にしようと思って、その日に特別の名前をつけたい気持ちになります。

まもなく、「平和旬間」(8月6日～15日)があります。また同じ8月15日にあたって、いくつかの記念を重ねて過ごす習慣があります。わたしたちの教会にとって、今年の8月15日は、横須賀三笠教会の小学生の皆さんを迎える日でもあります。やはり勝手に、私たちにとても大切な意味を伝えてくれる名前をつける楽しみがあります。

これからも、ともにおられる神さまのやさしい働きかけを見たことを「記念」しようと考えて、この日、あの日、それぞれの日に特別の名前をつけてみたらいかがでしょうか。たとえば、8月15日は『三笠教会との交流の日』と呼んでもいいかな。

ミサ当番表 (2004年7、8月)					
月/日	主日	朗読・奉納	共同祈願	侍者	オルガン
7/4	年間第十四主日	福島・石井(悠)	福島	石井(拓)・石井(築)	森田
7/11	年間第十五主日	青年会	青年会	石崎	保科
7/18	年間第十六主日	古田・北川	鈴木(廻)	下迫(瑠)	岩淵
7/25	年間第十七主日	美底・森田	美底	美底(か)・石井(麻)	森田
8/1	年間第十八主日	宮崎・小山(恭)	宮崎	永田・下迫(桂)	保科
8/8	年間第十九主日	青年会	青年会	石井(大)	岩淵
8/15	聖母の被昇天	森田・石井(洋)	望月	石井(拓)・石井(築)	森田
8/22	年間第二十一主日	森脇・岩崎	森脇	石崎	保科
8/29	年間第二十二主日	下村・花坂	小野(和)	下迫(瑠)	岩淵



スペインのサンチャゴ・デ・コンポステラにある大聖堂



<交わりとしての教会をめざして>

第12回横浜教区宣教司牧評議会総会に出席して

日時：平成16年6月5日13時～6月6日12時

会場：神奈川県箱根町強羅 白百合女子大学セミナーハウス

布教部福音宣教委員 竹内 広治

箱根の登山電車に乗りました。久しぶりのことで、あの時は壮年会のハイキングの帰り道でした。あの日の天気はまずまずでしたが、下山にかかる時から急に風が暴れだし、帰りを急ぐ観光客でバスも電車も人で一杯だったと記憶しています。おかげで今日は穏やかです。麓の線路脇に名物の紫陽花が咲き始めています。次第に花は頂上目指して登ってゆくのでしょうか。神父様と二人混み合う車内から、静かに流れる風景と紫陽花を眺めているうちに強羅、終点です。

総会が始まるまで腹ごしらえをしましょうと、駅前の何でもありの食堂に入って名物の蕎麦をすすりながら、道行く人影を追っていると、気配を感じるのか一人二人とご入店。何方も神父様のお知り合い、「こんにちわ、お久しぶり、今日はよろしく！」・・・・・・

総会の一日目は全体会で、司教様の「共同宣教司牧」についての講話と、各地区代表による地域の活動報告と意見の発表がありました。それらの発表のなかで、私たち都市型の信徒には予想を超えた環境の厳しさと、対策のご苦労を教えられました。その反面山間部にある過疎の教会同士の交わりが活性し、処によっては東南アジア系の信徒の割合が高いと聞き、新しい時代が地方から広がる予感を感じました。

休憩のあと6グループに分かれ、この日のためのアンケートのまとめ、司教講話、各地区からの問題提起をもとに、「共同宣教司牧にむけた地区福音宣教委員会の新しい在り方」について、司祭、修道女、信徒らがミーティングに入りました。そこでまとめた意見や、要望を二目目の全体会に発表、討議を重ね、結果を議事録として司教様の諮問に伝えるということです。

ミーティングに際しては、福音宣教委員としてのキャリアの有無によって、会議の進行に大分影響があつて、私などは足手まといではなかったかと反省すること極めて多しです。同じように委員は初めてと言われた長野北信の方は、たどたどしい様子ながら、それでも熱心にレコーダーを前にしてメモを取る手を休ませない。偉い人だなーと感心することしきり…。すると同席の神父様がやおら「レコーダーのスイッチが入っておらんよ」、これには一同大笑い。すっかりうち解けて和やかな雰囲気のままその日は終わり、温泉に浸かってすっかりリラックス、明日を夢見て床の中です。

二目目の朝、窓からの景色は箱根特有の山霧に包まれて深遠な気分。待つほどのこともなく、かなりの雨となりました。全体会のグループとしての発表も経験者が少ない割には成功といえましょう。司教講評は「共同宣教司牧」の意味を取り違えず、真の姿を見失わないようにと諭されました。支度を整え、雨の坂道を強羅教会へと急ぎます。失礼ながら古色の聖母子像と聖堂に迎えられ、三位一体の日のごミサを強羅教会の共同体の皆様と共に捧げることが出来たこの喜びを、心地よい記憶と一緒に持ち帰りましょう。

お知らせ

帰天 6月8日

アブラハム 村上好重様様

臨時信徒総会の開催

・議題：「運営基準見直し」および「建設資金」等
・日時：8月29日(日)ミサ後
・場所：聖堂

日本聖公会・聖クリストファー教会
との祈りと交流の集い(第2回)

・日時：7月11日(日)午後2時00分から
・会場：聖クリストファー教会(領家3-13-7、TEL 812-7919)



中和田カトリック教会運営規定の改正について

東原 秀夫

この度、中和田カトリック教会運営規定(以下規定と書く)の改正案の検討を担当させて頂き、去る5月末検討会を終了、結果を委員長さんに答申を致しましたが、答申の中心となる事項に就いて皆様の御理解を深めて頂き度く附言をさせて頂きます。

検討会の中で多く出された意見は、教会活動に対する指摘(・信者の活動の一体化・信者の協力・壮年会、婦人会のあり方等々)で、現行の規定には各機能が詳細に記されているものの、教会における信者の活動の目的等が明確を欠くと思われ、「福音宣教という教会の使命を果たす為に、信者一人ひとりが主体となって活動し、教会の維持運営を計る」ことを基本とする理念を明確に致しました。改正案1.総則に記載されている内容が、今回の改正案の基本であり、総てであります。

我々信者の教会での働きは、一つに神への奉仕です。奉仕の対象や目的が人や物であると、自分の考え方や思うことの違いから不満や不平も生じると思いますが、皆で神への奉仕をすることを心に留めて、自分の持つ力と時間の中で奉仕を心掛けて頂ければ、真の「交わりとしての教会」が実践できるのではないのでしょうか。今回の規定改正(案)の基本となる理念(考え方)を御理解頂ければと願う次第です。

なお、従来の文語体を口語体に改めましたので、堅苦しさも無くなった規定ではないかと思えます。



一粒会のお知らせ

一粒会委員 竹内 廣治

横浜教区一粒会第一回本部委員会が4月24日司教館で開催され、その報告書が送られて参りました。梅村司教様のお話(教区内外の神学生の動向)と議題の結果を含めた、横浜教区一粒会常任本部委員長の福本俊輔氏から寄せられた、「会員の皆様へ」のメッセージを転載致しますのでお読み下さい。

- ・3月20日(春分の日)沼津教会において、高野哲夫師の司祭叙階式が行われました。一年間、副事務局長として働きながら、教区内の小教区を回って見てもらいます。
- ・4月7日(水)山手教会の聖香油のミサで、祭壇奉仕者、朗読奉仕者それぞれの選任式と助祭、司祭候補者認定式がありました。
- ・教区神学生は初年度養成にガリラヤの家で4名(ベトナム人神学生3名を含む)、東京に3名、合計7名です。
- ・東京カトリック神学院の2004年度入学者は9名、合わせて現在41名です。神学生が増えたため、神学生寮は来年改築して対応いたします。

以上が梅村司教様のお話の一部抜粋です。

横浜教区一粒会会員の皆様へ

主の平和

会員の皆様にはお祈りと献金を通じて一粒会の事業に参加、ご協力を賜りありがとうございます。

本年度の第一回本部委員会が、去る4月24日開催されました。議題は、

1. 2003年度決算の承認
2. 本年度一粒会大会について
3. 各地区の活動報告など

でした。決算内容は別紙の通りですが、皆様のご厚情により献金は4,856万円となりました。支出は、神学生養成援助金として教区へ4,000万円、司祭援助金200万円、教区分担金300万円を予算通り納付いたしました。席上、高齢司祭の援助についてもっと積極的に考えるべきでは、とのご意見がありました。梅村司教様から教区としてもいろいろ考えており、一粒会からの援助に感謝している旨のお話がありました。

今年度の一粒会大会は、9月20日、横浜市旭区の二俣川教会を会場に、常任本部委員会の担当で開催することとなりました。本年度担当予定の神奈川第七地区については、地区指導司祭より地区の合同堅信式が予定されているため出来ないが、来年は開催できるよう準備いたしますとのことでした。

各地区からの報告をいただき、今年度の活動を確認いたしました。

本会の目的である、祈りと物質的一粒を結集し、横浜教区関係の司祭の召命と成聖に寄与できますよう、共に活動を進めて参りたいと存じます。会員の皆様のお力添えを心からお願い申し上げます。

2004年5月31日

横浜教区一粒会常任本部委員長 福本俊輔

